

# 令和6年度 「宣伝使・宣伝使になるための研修会」 開催のご案内

聖師さまは約100年前、「ご神業のままに、世を救へ、世人を救へ」というお示しがあります。今年は令和567(みろく)激動の年の2年目に当たります。開教132年、みろく大祭ごあいさつの中に「私たち大本信徒の使命は自らが思っている以上に大きなものがあります」とお示しをされています。多くの方が混乱し、不安を抱いている今、大本のみ教えを今一度研鑽し、ご神業に邁進したいと思います。宣伝使・宣伝使候補の皆様方、「ご祈願」「み手代お取次ぎ」についての実習を通して、その意義と活用方法を学びます。

**【日時】**  
令和6年**9月29日(日)**  
10時から15時30分

**【場所】**大本三河本苑  
**【対象者】**正宣伝使・准宣伝使・宣伝使試補・信徒(宣伝使試補候補者)

**【講師】**特派宣伝使・特任宣伝使  
**【持ち物】**令和6年度教団方針、み手代、み手代お取次ぎ手帳、宣伝使の心得

**【締切】**9月15日(日)

時間	プログラム	担当
10:00	受付開始	
10:20	開講式(御神前礼拝)	先達;事務局
10:30	開会挨拶	次長
10:35	講話 「宣伝使の心得」	前田特派宣伝使
12:00	昼食	直心会
12:45	実習 「み手代お取次ぎ」	特任宣伝使(説明30分) 実習(30分)
13:45	休憩	直心会
14:00	実例話(宣伝使の方) 質問、協議、その他	宣伝使の方 前田特派宣伝使 特任宣伝使
14:45	総括	前田特派宣伝使
14:55	閉講式(ご神前礼拝)	先達;事務局
15:05	閉会挨拶	次長
15:10	記念写真、片付け、清掃	全員



**8月号**  
2024・8 No.507  
(発行者)  
**大本三河本苑**  
〒443-0031  
蒲郡市竹島町28-5  
TEL.0533-69-7518  
FAX0533-69-1455



## エスペラントの会

芸術部長  
高井郁代

7月7日(日)午前中、本苑多目的室にて、萩原先生を講師に第一回エスペラントの会を開催しました。来年の「綾の聖地エルサレム大本歌祭」にエス語で献詠歌が出せることを目標に楽しく学びました。二回目は、**9月1日(日)**に開催します。参加お待ちしています。



## 梅ジュース作り

6月1日に直心会・みどり会講習会第2弾として「梅ジュース作り」を開催しました。これからの暑い季節を元気に過ごさせていただくため、和気あいあいとした楽しいひとときを過ごしましょう。

**令和6年 秋季大祭奉納冠省句の募集**

【冠句題】  
・ 一つの世も  
・ 数々の  
・ いろいろと

【省句題】  
・ 教主さま

【締切】9月15日(日)  
(本苑9月月次祭)  
※1人5句まで 芸術部

**八月添釜  
納涼茶会**

残暑厳しい中にも、秋の気配を感じながら一服をお召し上がりください。  
茶道部/直心会第二テロク

- 8月の行事  
17日(土) 直心会・みどり会講習会 きゅうりのしょう油漬 きゅうりの焼酎漬
- 18日(日) 本苑8月月次祭  
・ 全体会議
- 24日(土)~25日(日) 本部講師葬祭研修会  
本部講師/加藤先生
- 9月の行事  
1日(日) 第2回エスペラントの会  
11日(水) 第22回全国一斉世界平和祈願
- 15日(日) 本苑9月月次祭  
・ 敬老会
- 29日(日) 宣伝使・宣伝使になるための研修会

三河本苑公式LINE

↑ コチラから  
本苑だより更新中



# 正食 ころろ&からだ

④食品の全部を食べることに関連して、食品の加工、調理に留意し、自然のままに食べる(と)部食

- ①四季それぞれの季節に、収穫される食品を食べること《季節食》
- ②その住む土地で、産出された食品を食べること《国土食》
- ③食品の一部だけを食わずに、その食品の全部を食べること《全部食》

## 「正食」について 正食の四条件

正食の原則を要約して言えば、次の四条件が考えられます。

## 私の思い 「よろこび」を知る

吉良支部 榊原さよ子

過ぎし歳月を思う時、私は大本の神様に助けられて今日まで生きてくることができました。大本にご縁をいただいたのは、息子がうつ病を発症してその症状に悩んだすえ、吉良支部へ駆け込んだのが初めてで三十年程が経ちます。

当初、み教え学ぶことなく大神様を御迎えし入信しましたので、戸惑うことばかりで支部の皆様にお世話をさせていただき、なんとかついていこうと思いつつ「生きがい」シリーズを読み、感動したことを忘れません。その後、祖霊様もお祭り出来たことがとても喜ばしいことでした。

その間にも息子の病勢は一進一退で、永い年月を経て、今は障がい者として暮らしています。この病気になったことは不幸ではあるけれど、そのことで大本に出合い導かれ、心を深く見つめることが出来たことを思えば喜びです。

しかし偉そうなことは言えません、そんなふうに思えるようになるまでは、なんでうちの子ばかりかと悲嘆に暮れた日々もあり、不運な一面ばかりをみていました。今は教学の根本のすばらしさに教化され、どんな些細な事にも、よろこびの種があることに気づかせていただいています。

家庭の事情で大本の祭典や行事には、あまり出席をしていますが、これからも信徒として恥ずかしくないように生きていきたいです。

(平沢こう)という人の短歌に「今朝もまた目覚めて目も見え手も動くああありがたしこの身このまま」があり、生きる「よろこび」を見つけました。

## ちびっ子祭員さん登場



6月の月次祭では、白衣と赤袴の可愛い女の子の祭員さんが登場しました。祭員さん登場と同時に参拝者の笑顔が見られました。祭典が進み、いよいよ出番の玉串奉奠では、大人に交じり玉串後取を務めました。

祭典後に本苑長よりお褒めの言葉をいただきおじいちゃんと3人で記念写真を撮りました。本苑では青少年の祭員参

加を募集しており、そこで、本苑月次祭に見える、おじいちゃん(生田文弘さん)とお孫さんの生田悠希ちゃん(小学4年生)をお願いしました。

おじいちゃんにお聞きした所、我が家の月次祭では悠希ちゃんはおじいちゃんと祭員をしているそうです。

祭典中のお孫さんを見守るおじいちゃんは、祭員退場とともにホッとして、笑顔に変わっていました。悠希ちゃんご苦労さまでした。

## 靈魂の思頼

1 (みたまのふゆ)

(大正14年12月)「日出磨先生之旧稿」P26より

病人に食物や薬物や医師や病院にのみ頼る心があつて、神に祈り神に謝する心が無ければ治癒(ちゆ)が遅い。

病氣は殆んどみな靈界から来ているのだから、先ず第一に神に頼らねばならぬ。この心があつて後始めて医薬に委(まか)すべきである。処が慢性病に限つてなかなか神に頼るといふ氣が起らぬ。これは神に背ける憑依靈の所為である。

家族の者が専心神に祈願してやり、又病人自身も心から神に謝して心を瞬時も神から話さぬ様、一生懸命光に面を向けていゝ氣持で、周囲の者に対しても不

平や不足を懐(いだ)かず、なる

病人に食物や薬物や医師や病院にのみ頼る心があつて、神に祈り神に謝する心が無ければ治癒(ちゆ)が遅い。

も、只一切万事に対して「有難い」といふ氣持さえ真に懐き得たならば、どんな心の罪人でも、その人は早晩(そうばん)必ず天国に入ることが出来る。

身魂の向上の道程に於いても苦難を喜び、一難毎に新しい世界を開く考へで、苦難そのものの為(ため)に心を苦しめず悩まず、神第一にあるままなるままを嬉し

く、もし他(ひと)が尻を拭けと言つたら、ああこれで一役済んだという氣になり、転じて足を

すりむいたならば、ああ有難い、大難を小難で済ましていただいたという氣になつて、すべてを善意に見直し聞直しさえしておけば、それで次第に身魂は向上してゆくのである。

然るに、一寸した事を恨(うら)み、妬(ねた)み、はかなみ、怒り、疑い、泣きなどしているから、表面どんな善い事をして、泣き泣きした事は、悲しい結果に終わるだけであり、恨みつつした事は恨みの凝固に過ぎない。

世人はみな行為のみに留意(りゆうい)して、これに籠(こも)つていゝ靈を忘れていゝ。否全然(まったく)氣がつかないのである。

表面上小さい汚い事でもあれば、表面は大きな仕事でも、非常な靈的神業に成つていゝ

## ひと時の「よばなし」?

事もあれば、表面は大きな仕事でも、靈的には地獄を追加しているにすぎない事も多い。

つづく

いつも明るいユキちゃん今から5年前のお話しユキちゃんはいつも明るく動きまわることが大好きな活発な女の子

ユキちゃんの好きなアニメは「ひみつ×戦士フアントミラージュ!」ですいつもじいちゃんを悪者として戦いをいどむ

そして「ひみつ×戦士フアントミラージュ!」の「イケない心ちよーだしいます!」と

ユキちゃんの大きな声と迫力におされていつもじいちゃんは負ける

しかし明日にはまた、じいちゃんは生きかえり戦いがはじまる

永遠に続くユキちゃんといちいちゃんの戦いじいちゃんは戦うたびに元氣をもらい若返っていくありがたう「ひみつ×戦士フアントミラージュ!」のユキちゃん